



老朽化により改修が望まれている織笠新田集落センター前の橋梁(新田地区)



小林 隆 議員

基盤整備

織笠新田集落センター前の橋梁改修

強度は問題ない…タイミングを見定めたい

質問 織笠新田集落センターまでの道路は、未舗装であり、橋も木造で老朽化している。

この施設は、地域活動の拠点として重要であることから、永久橋として早急に改修し、周辺も整備するべきと考えるがどうか。

沼崎町長 織笠新田集落センター入り口付近の準用河川新田川に架かる橋について

では要望され、調査・検討を行ってきた。現在の橋梁は、集落センター建設当時地元の方々による建設と聞いている。橋台はコンクリートの練り石積み、梁は鉄道レール、床版は枕木である。橋の長さは6桁、高さは1・7桁程度で、橋台も床版も通水断面を阻害しておらず、センターの利用状況や民家の数などを考慮

議員12人が一般質問

漁港整備

織笠漁港の岸壁破損

来年度から北側物揚場補修に努める

すると、強度的には問題ないと判断している。

しかしながら、経年劣化

していることから、降雨時のパトロールの強化など、今後の状態に注意していきたい。橋の架け替えについては、タイミングを見定めたい。限りある町の財源の効果的活用にも努めたいと考える。

質問 織笠漁業協同組合の北側舗装岸壁が破損している。段差もあり、働く人々に不便をきたしていることから、早急に整備舗装するべきと思うがどうか。

また、地震・津波などが来たときは安全か。

沼崎町長 織笠漁港北側物揚場の破損箇所については、荷捌所前から北に向かって、順次補修することになっている。緊急の補修を要する箇所が発生したため、平成18年度は別の箇所を、19、20

年度は荷捌所の西側を補修せざるを得なかったが、来年度から北側物揚場の維持補修に努めたい。

地震・津波などがきたときの安全性については、先の岩手県北部地震や平成15年の三陸南地震の震度5の揺れで、若干の亀裂などは発生しているが、安全は保たれている。

津波に対しては、波高や状況によるが、岸壁が冠水する程度では、倒壊することはないと考える。